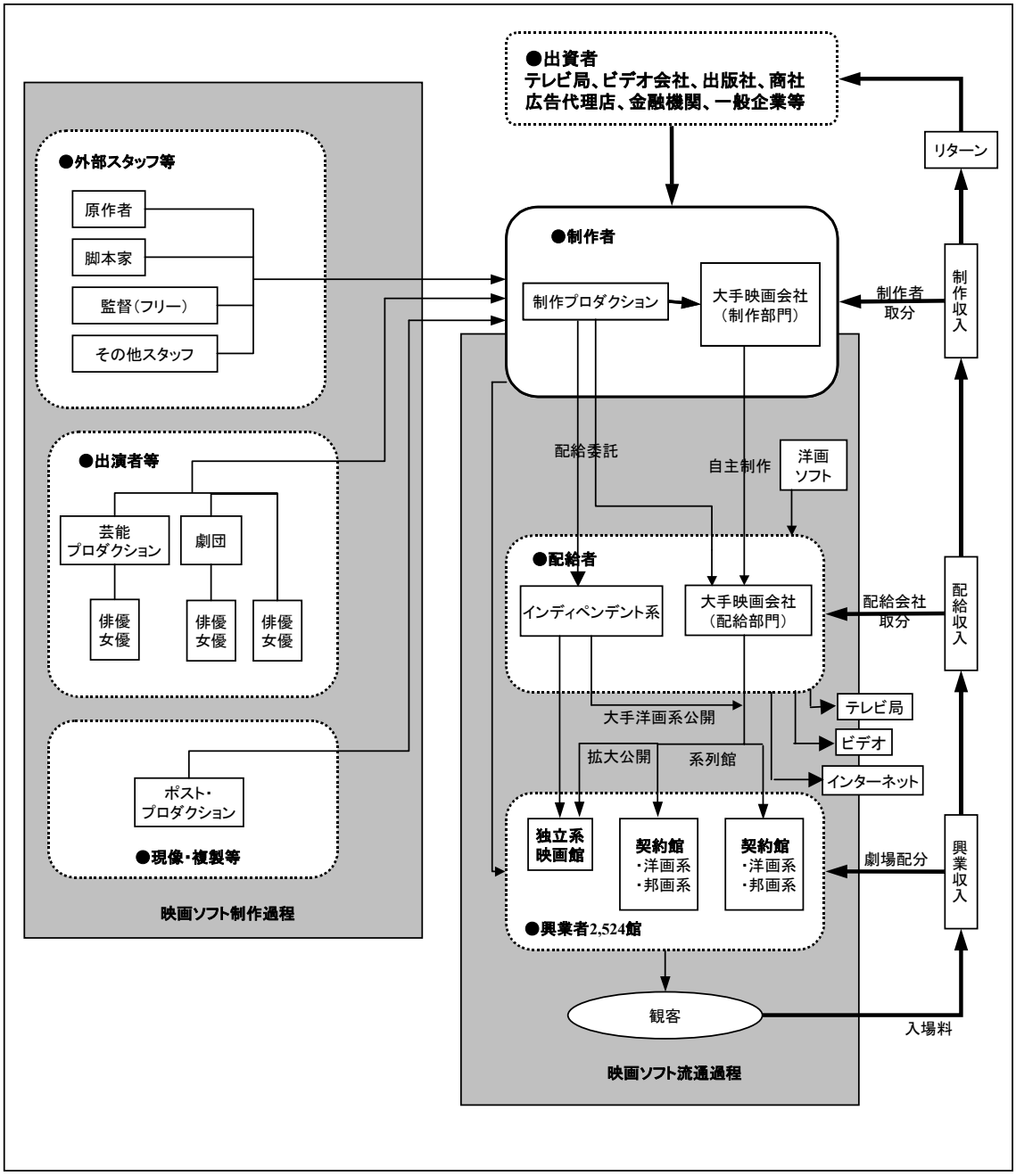
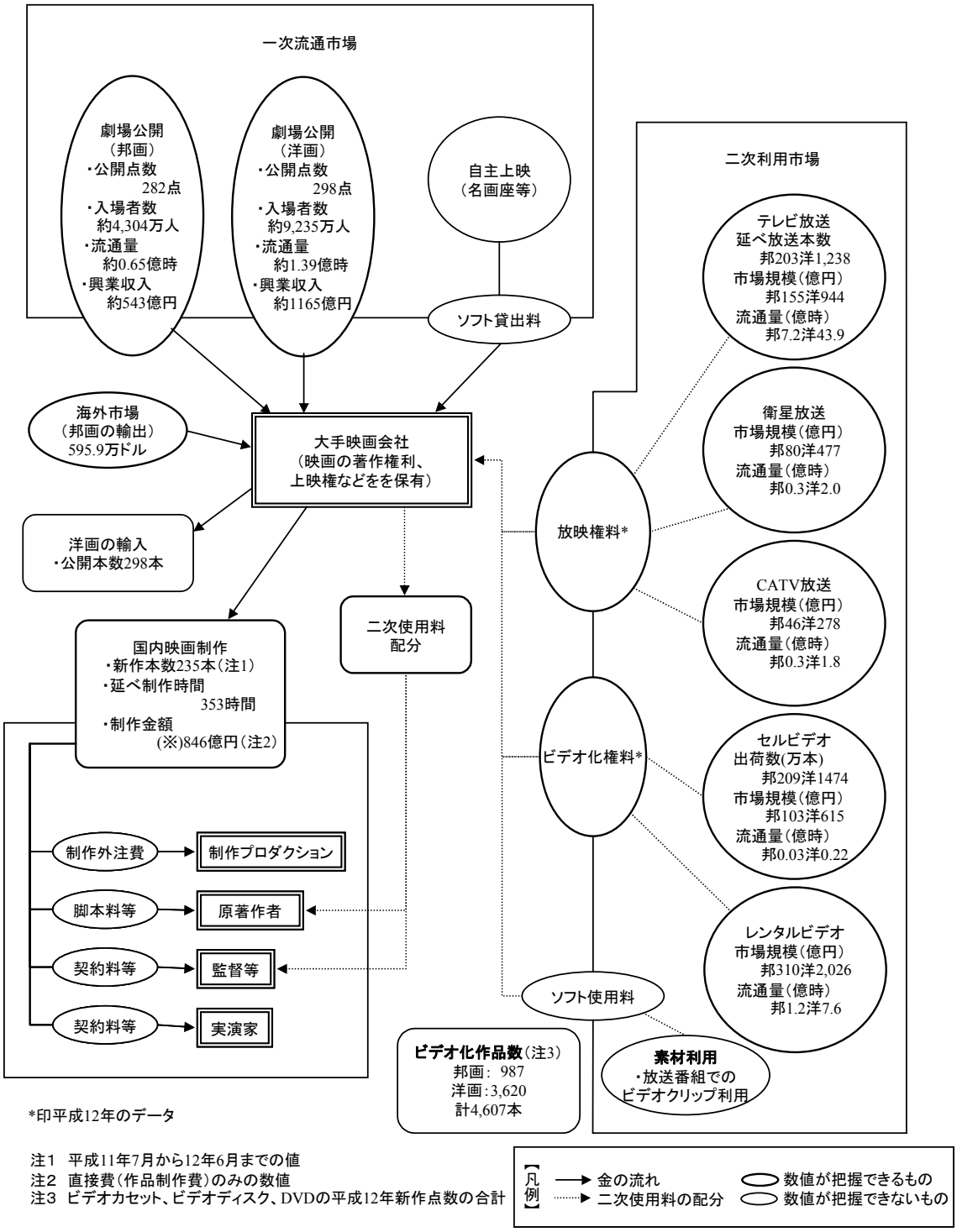
映画業界構造


●出資者
テレビ局、ビデオ会社、出版社、商社
広告代理店、金融機関、一般企業等
リターン
●外部スタッフ等
原作者
脚本家
監督（フリー）
その他スタッフ
●制作者
制作プロダクション
大手映画会社
（制作部門）
制作者
取分
制作収入
●出演者等
芸能
プロダクション
劇団
俳優
女優
俳優
女優
俳優
女優
配給委託
自主制作
洋画
ソフト
●配給者
インディペンデント系
大手映画会社
（配給部門）
配給会社
取分
配給収入
テレビ局
ビデオ
インターネット
大手洋画系公開
拡大公開
系列館
ポスト・
プロダクション
●現像・複製等
独立系
映画館
契約館
・洋画系
・邦画系
契約館
・洋画系
・邦画系
劇場配分
興業収入
映画ソフト制作過程
●興業者2,524館
観客
入場料
映画ソフト流通過程

映画ソフト市場の構造と規模（平成 12 年）



映画ソフト市場規模、流通量数値算出の基準

基本的な考え方

○ 一次流通市場（劇場上映）では、入場者から入場料を得て、そのなかから映画会社に配給収入が支払われる。流通市場規模は、入場者が観覧した時間及びそれに伴う興行収入より捉える。

○ テレビ放送、ビデオといった二次利用市場の規模は、流通したメディアでの広告収入、販売収入等により捉える。流通量は各放映時間×視聴者数により推計する。

○ 映画制作の市場規模を表す指標として、各作品の制作費がある。ここから、外注プロダクション、脚本家、監督、実演家等への支払が行われている。この他、脚本家、監督等には配給収入、二次使用料収入から一定割合が支払われている。

映画ソフト市場規模、流通量の算出方法

市場別		規模・量の考え方		算出方法・推定方法	典拠
一次流通市場	映画館での上映	市場規模	劇場公開を一次目的として製作された映画ソフトの上映による収入	映画の総興行収入	映画年鑑
		流通量	劇場公開を一次目的として製作された映画ソフトが視聴された延べ時間	映画の観客動員数×平均上映時間（1.5h）	映画年鑑
再利用	大学、自治体等での自主上映	市場規模	劇場公開を一次目的として製作された映画ソフトの自主上映による収入	（当面考えない）	
		流通量	自主上映された映画ソフトが視聴された延べ時間	同上	
二次利用市場	テレビでの放送	市場規模	テレビで放送された映画ソフトによるテレビ局の収入（受信料、広告料等）	テレビ局の収入（受信料、営業収入）×映画放送率（NHK2.4%、民放 6.5%）	日本民間放送年鑑、NHK 年鑑、映画年鑑
		流通量	テレビで放送された映画ソフトが視聴された延べ時間	一人当たり年間平均テレビ視聴時間×テレビ視聴人口（1.1 億人）×映画放送率	同上
	衛星放送（BS、CS)、CATV での放送	市場規模	映画ソフトによる衛星放送、CATV の収入	衛星放送局、CATV 局の収入×映画放送率（NHK BS5.4%、WOWOW65.7%、CS20.3%、CATV13.6%）	NHK 年鑑、総務省資料
		流通量	衛星放送、CATV で放送された映画ソフトが視聴された延べ時間	衛星放送局、CATV 局における年間視聴時間×メディア別視聴者数×映画放送率	

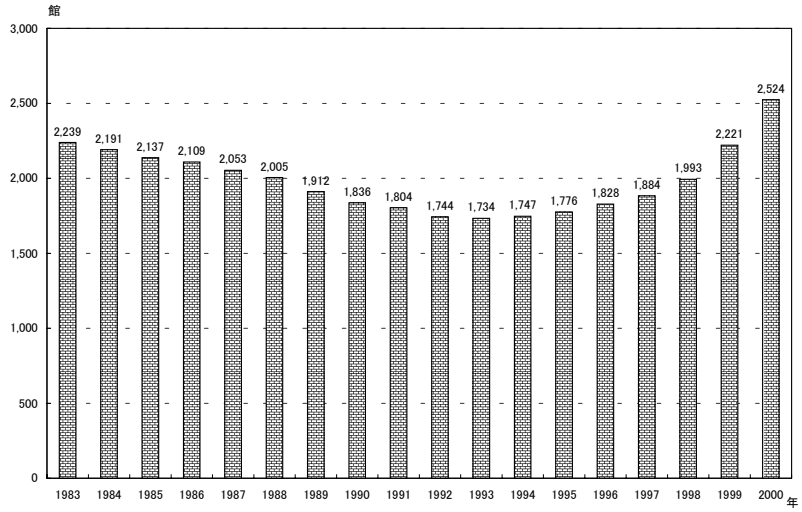
市場別		規模・量の考え方		算出方法・推定方法	典拠
二次利用市場	ビデオソフトでの流通	市場規模	ビデオ化された映画ソフトによる収入	映画セルビデオ出荷金額/0.75）＋ビデオ総レンタル本数×映画ソフト率×レンタル単価（¥400）	日本映像ソフト協会資料
		流通量	ビデオ化された映画ソフトの販売・レンタル量	（映画セルビデオ出荷本数＋ビデオ総レンタル本数×映画ソフト率）×平均収録時間（1.5h）	同上
ソフト制作	映画ソフトの制作	市場規模	映画ソフトの制作に要した費用	邦画製作本数×邦画平均制作費（3.6 億円）	映画年鑑
		流通量	制作された作品の延べ時間	邦画製作本数×邦画平均上映時間（1.5h）	同上
ソフト輸出入	邦画ソフトの海外輸出	市場規模	国内で制作された映画ソフトの海外への輸出額	国内で制作された映画ソフトの海外への輸出額	映画年鑑
		流通量	国内で制作された映画ソフトの海外への輸出量	国内で制作された映画ソフトの海外への輸出本数×平均上映時間（1.5h）	同上
	洋画ソフトの海外からの輸入	市場規模	海外で制作された映画ソフトの国内への輸入額	海外で制作された映画ソフトの国内への輸入額	同上
		流通量	海外で制作された映画ソフトの国内への輸入量	海外で制作された映画ソフトの国内への輸入本数×平均上映時間（1.5h）	同上

映画ソフト市場の動向

○一次流通市場の動向

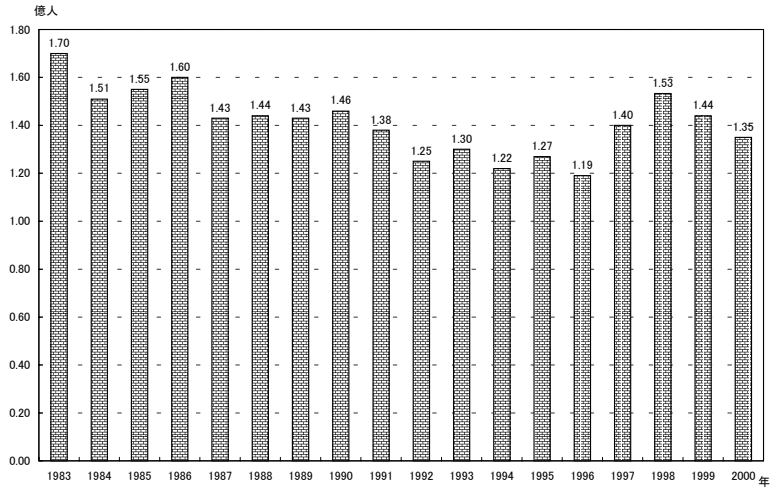
- 映画ソフトの一次市場である映画館数は、1993 年まで減少していたが、以後増加に転じた（図表 1-1-1）。これは、再開発ビルや駐車場が完備された郊外の大型ショッピングセンター等において集客強化のための娯楽施設として位置付けられた、複数の映画館で構成されるシネマコンプレックスが全国に設置されたことによる。
- 近年の映画館数の増加にあわせて、観客動員数、興行収入の減少にも一定歯止めがかかった（図表 1-1-2、図表 1-1-3）。ただ、興行収入がヒット作の有無に左右されている現状は変わっていない。

図表1-1-1 全国映画館数の推移



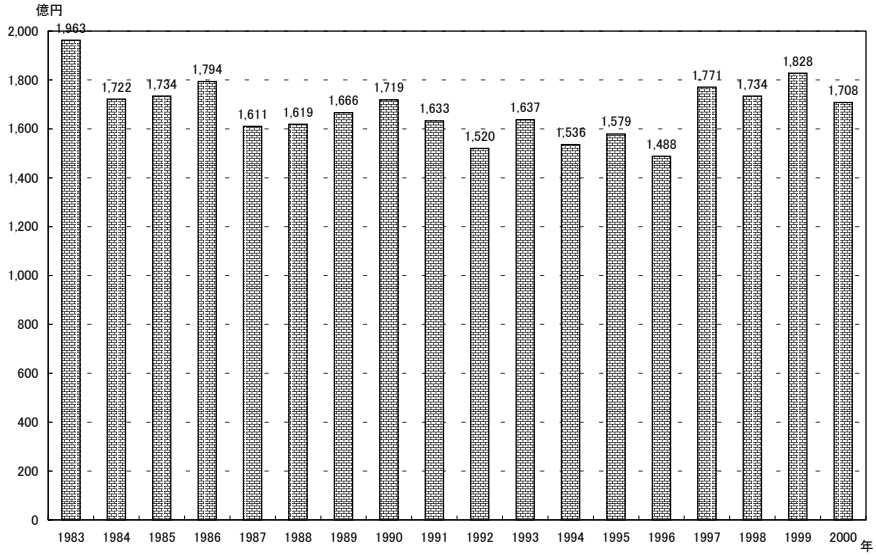
出典：時事映画通信社「映画年鑑」

図表1-1-2 観客動員数の推移（含洋画）



出典：時事映画通信社「映画年鑑」

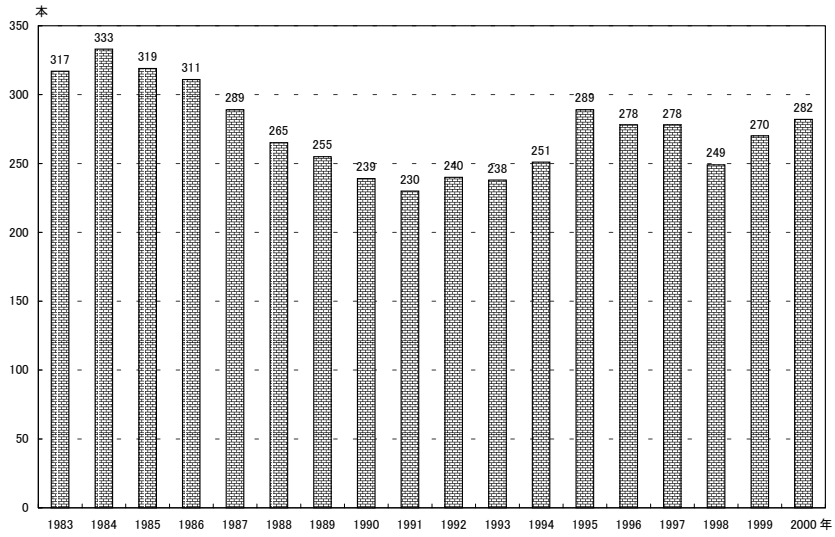
図表1-1-3 興行収入の推移（含洋画）



出典：時事映画通信社「映画年鑑」

・ 洋画の公開作品数は、年間 300 程度である。邦画の公開作品数は 250～300 となっている。

図表1-1-4 邦画封切本数の推移

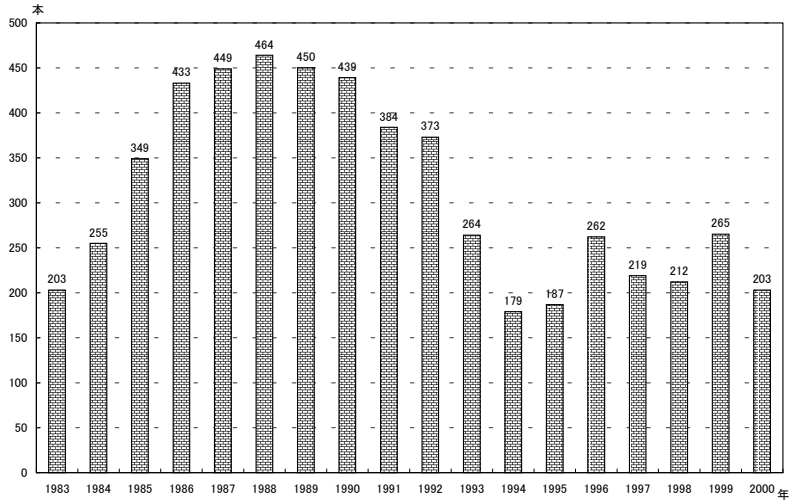


出典：時事映画通信社「映画年鑑」

○二次流通市場の動向

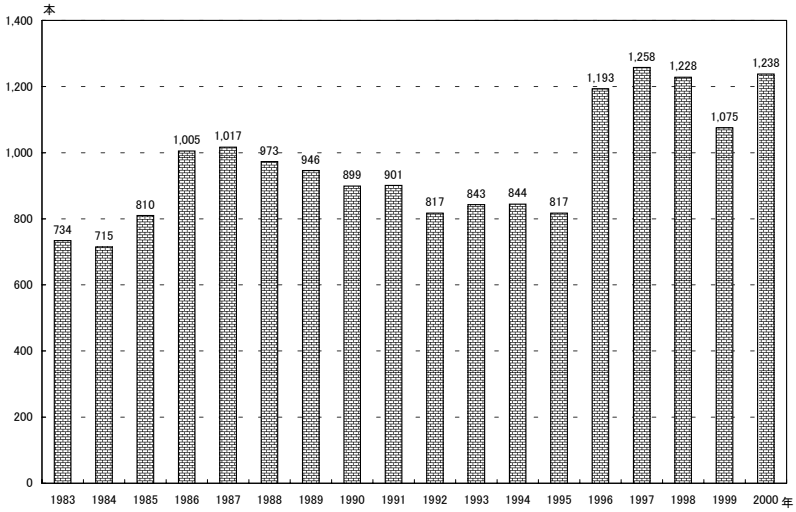
- 邦画のテレビ放送作品数は、1988 年をピークに減少し、近年はピーク時の半数程度にまで落ち込んでいる。
- 衛星放送（BS、CS）、CATV といった有料放送では、普及に従って映画ソフトを専門に放映するチャンネルが増えている。

図表1-1-5 邦画のテレビ放送（地上波）本数の推移



出典：時事映画通信社「映画年鑑」

図表1-1-6 洋画のテレビ放送（地上波）本数の推移



出典：時事映画通信社「映画年鑑」

○ソフト制作の動向

- 邦画作品の平均制作費は、直接制作費が約 3～4 億円、プリント・宣伝・配給経費などの間接費が約 3 億円、あわせて 6 億～7 億円と言われている。例えば大手作品の制作費は、「もののけ姫」23.5 億円（1997 年）、「となりの山田君」16 億円（1998 年）、「ジュブナイル」10 億円（1999 年）、「ホワイトアウト」10 億円（2000 年）、「千年の恋 ひかる源氏物語」14 億円（2001）。一方、ハリウッドにおける制作費は 1 本あたり 40 億円と言われている。ハリウッドにおいては「完成保証制度」や「映画ファンド」等で膨大な制作費というリスクを分散している。例えば、映画ファンドは映画の制作費を投資家から募り、利益を分配する方式である。
- 制作費の高騰、テレビ放映での知名度の活用、コンテンツの確保等を背景として、テレビ番組を映画化するケースも増えている。例えば、「劇場版ポケットモンスター」はテレビ東京、「劇場版 GTO」はフジテレビという具合である。こうした場合、テレビ局も出資を行っている。

○映画ソフトのネットワーク配信の動向

- ブロードバンドの普及とともに、ストリーミング技術を利用して映画ソフトをネットワーク配信する取り組みが行われるようになってきている。ただ、映像配信には高速インフラが必要であるため、映画ソフト配信サービスは、ブロードバンドサービス提供会社、CATV 局などインフラを提供している会社の付加サービスとして提供されているケースが多い。
- ネット配信が可能になることで、これまであまり目にふれられていなかった映画ソフトが注目を浴びる可能性も出てきている。ショートフィルム（短編映画）は、10～30 分程度の映画であり、ごく一部の映画館でしか上映されていなかった。ネットでの映像配信はまだ長時間鑑賞するまでのクオリティとは言えないが、ショートフィルムはそうしたデメリットがあまり気にならない。
- また、映画配給会社、ポータルサイトを中心とし映画の予告編が提供されるようになっている。

図表1-1-7 ブロードバンドインターネット加入者数

	平成 12 年末	平成 13 年末
CATV 接続	62.5 万	130.3 万
DSL サービス	1.0 万	152.4 万
ダイアルアップ型接続	1580 万	1974 万

出典：総務省資料

図表1-1-8 映画ソフト提供サイトの例

主体	映画関連コンテンツ	料金	備　考
ショウタイム	映画（洋画、邦画） 映画予告編 映画情報	1 回 300～450 円	有線ブロードネットワークスと楽天の合弁事業。映画は会員のみのサービス。
モーションプロ	映画 （幻の名画を中心に 600 作品）	1 週間 500 円～	ストリームまたはダウンロードにて映画を売り切りで提供。通信速度は 500kbps。
関西マルチメディアサービス	映画 （著作権付の映画本編）	無料	広告収入（本編の始まりと途中に 1 分程度の CM 挿入）で運営。CATV インターネット利用者を対象。
パルコ	短編映画 （3～10 分程度の洋画、邦画）	月 500 円	フジテレビとの共同事業。海外の短編映画のほか、フジテレビとの共同制作作品を配信。
ギャガ・コミュニケーションズ	短編映画 （平均 8 分程度、16 本）	月 300 円	2002 年 2 月 1 日サービス終了。
イマジカ	短編映画 映画情報番組	月 300 円	AII の CATV インターネットユーザー向け。
ポニーキャニオン	短編映画 （恋に落ちたジョージルーカス）	1 日 100 円 週 200 円	通信速度は 256kbps、500kbps、1Mbps から選択。